

の試験に数名が挑んでいます。また仏検も各自の目標に応じて多くの学生がチャレンジしています。せっかく習い始めた英語以外の新しい外国語です。仏検や DELF 合格を目標にして一緒に頑張りませんか？

仏検を受験して

文学部 2年 杉田 竣祐

私は昨年の秋に仏検を受験しました。私が仏検三級合格に至った勉強法などを書いていきたいと思っています。

仏検の勉強には大学の教科書の他に、文法の参考書一冊と単語集を一冊使いました。参考書は駿河台出版社の新・リュミエールを使いました。文法事項と例文、練習問題が載っていて、これを一通り憶えれば三級で出る文法は殆ど分かるようになると思います。一年次に仏検三級を受験する場合は、大学の授業でまだやっていない所も自分で勉強しなければいけないので、参考書があると便利だと思います。授業より先に勉強して、ある程度理解してから授業を受けると理解もより深まるのでお勧めします。

単語集は、仏検の級ごとの単語がまとめられているものを使いました。試験に出たのは日常的に使う簡単な単語が多かったので、基本的な単語を正確に憶えることが高得点に繋がると思います。

参考書や単語集で憶えるだけでなく、実際に憶えたことを使ってみると良いと思います。例えば、身の回りの物をフランス語に訳してみたり、時計を見たときフランス語で時間を言ってみたりすると良い練習になると思います。外国人の先生と話をしたり、友達と会話の練習をするのもとても効果的だと思います。また、試験

にはリスニング問題もあるので練習しておくの良いです。インターネットにリスニング教材を公開しているサイトもあるので利用すると良いと思います。

語学検定は、自分の語学の能力を知ることができますし、学習のモチベーションも上がると思うので積極的に受験することをお勧めします。



中検4級、3級への挑戦 発音問題をクリアしよう

国際コミュニケーション学部

塩山 正純

外国語の学習で、資格はゴールではなく、あくまでチカラ試しですが、例えば中検合格を目指して必死に勉強するうちに結果として中国語のチカラが身に付くこともあります。ですから、検定に一所懸命になるのも悪いことではありません。今回は中検の得点アップのカナメでありながら、多くの学習者が苦手意識をもっている筆記試験の発音問題について考えてみましょう。

愛大で第二外国語の中国語は、1年生で週2時間、学部によっては2年生でも週1、2時間の授業があります。中検は「日本人が外国語として中国語を学んだ到達度」を測る試験で、中検HPの各級の認定基準は、4級が「一般大学の第二外国語における第一年度履修程度」、3級が「一般大学の第二外国語における第二年度履修程度」となっています。恐らく最初に挑戦する4級は1年生の勉強を終えたか、その一歩手前、それから3級は2年生の勉強を終えたあたりが一応の目安になります。

皆さんも経験があると思いますが、恥ずかし